

# アイザワ週報

第 2475 号 2022 年 4 月 18 日

審査番号・220411-B1

## 目次

[今週号は 2022 年 4 月 8 日時点の情報を基に作成しています]

マクロ経済コラム：需要不足から供給力不足へ	1
日本株銘柄情報：クラウドワークス(3900)	2
日本株銘柄情報：ブリッジインターナショナル(7039)	3

## 需要不足から供給力不足へ

笹木 義次

企業の生産設備の過剰感が低下しています。日銀短観の生産設備判断 DI によれば、2002 年第 1 四半期から 2007 年第 1 四半期までの期間の生産設備判断 DI の過剰感の平均は 6%ポイントです。2009 年第 2 四半期から 2019 年第 1 四半期までの期間の生産設備判断 DI の過剰感の平均は 3%ポイントです。企業の生産設備の過剰感は低下しましたが、設備投資の増加率は低下しています。2002 年第 1 四半期から 2007 年第 1 四半期までの期間の設備投資の平均増加率の年率換算は 3.5%です。2009 年第 2 四半期から 2019 年第 1 四半期までの期間の同率は 2.5%です。

デフレになっている日本経済は需要不足の状態です。しかし、上記の事柄は需要不足の状態が継続する事で、供給力が徐々に低下している事を示しています。生産設備判断 DI と販売価格判断 DI は逆相関となっています。経済全体の需給バランスが価格動向に影響する事を示しています。以上の事から、日本経済は、需要不足によるデフレから、今後は供給力の不足によるインフレに向かう事がわかります。





# ブリッジインターナショナル (7039)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2022/4/8)	2,084.0 円
売買単位	100株
市場	東証グロース
時価総額	78 億円

## 事業概要

ブリッジインターナショナルはインサイドセールスに関連するサービスを提供しています。インサイドセールスとは法人営業においてメール等を活用して営業活動を行う手法の事です。2021年12月期からは研修事業も行っています。

## 前期は増収増益に

ブリッジインターナショナルの2021年12月期の業績は、売上高が55億93百万円と前年比で53.4%の増収に、営業利益は6億44百万円と前年比で47.1%の増益となりました。インサイドセールス事業で主力サービスのアウトソーシングサービスが、顧客企業の需要増加で増収となり、全体の売上高の増収に寄与しました。また、2021年12月期第2四半期からアイ・ラーニング社を連結化した事で、研修事業が加わった事も売上高の増収に寄与しました。

前述の様にアウトソーシングサービスが順調に推移しました。企業のインサイドセールスに対する需要が増加しています。ブリッジインターナショナルでは、アウトソーシングサービスでの質を重視した姿勢が顧客企業に評価され、量的な成長に繋がっています。

研修事業では、売上高が15億4百万円に、セグメント利益は1億59百万円となりました。第2四半期から連結していますので前年比較

## <業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/12	3,646	438	441	293	82.7	0.0
2021/12	5,593	644	649	493	135.6	0.0
2022/12計	6,612	672	672	450	121.1	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。  
(注意)2021年12月期第2四半期から連結決算です。

## <投資指標>

連結	
今期予想PER	17.2 倍
PBR	2.64 倍
予想配当利回り	0.00 %

はありません。新人研修とDX推進研修が売上高に寄与しました。DX関連の研修では、先行して取組んでおり、優位性があります。企業ではエンジニアなどのIT関連人材の採用が困難になり、人材の育成を重視しています。研修事業にとって、追い風になっていると推測しています。

## 今期費用増加の計画

ブリッジインターナショナルでは、2022年12月期の業績は、売上高が66億12百万円と前年比で18.2%の増収を、営業利益は6億72百万円と前年比で4.3%の増益を計画しています。人員関連費用とマーケティング費用など、費用の増加を計画している事から営業利益の増益率は低くなっています。

筆者はブリッジインターナショナルの2022年12月期の業績は、売上高が67億90百万円と前年比で21.4%の増収を、営業利益は6億90百万円と前年比で7.1%の増益になると予測しています。インサイドセールス事業と研修事業ともに堅調な需要が見込める事から、増収増益を予測しています。

7039 ブリッジ 東証 適定 20/9/28-22/4/4  
日付:22/4/08 高:2011.00 低:2089.00 安:2011.00 現値:2084.00 出来高:13.6  
W:00/00 増減移動平均[5] [10] [20] [30] [60] [120] [250] [500] [1000] [2000] [5000] [10000]  
SI:出来高[10] [20] [50] [100] [200] [500] [1000] [2000] [5000] [10000]



(C) QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

### 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント  
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報  
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa